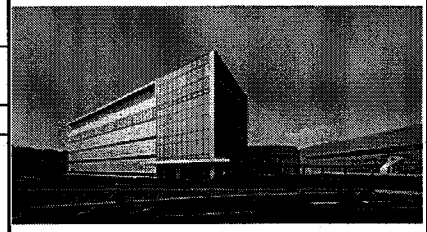


CASBEE® 新築[簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2010年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v.1.5)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)タツタEMセンター建設工事	階数	地上5F
建設地	京都府木津川市州見台6-5-1, 5-2	構造	S造
用途地域	準工業地域、法22条地域	平均居住人員	130人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	7,200時間/年
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年5月 予定	評価の実施日	2012年4月10日
敷地面積	44,911 m ²	作成者	小坪忠彦
建築面積	1,877 m ²	確認日	2014年5月1日
延床面積	6,239 m ²	確認者	小坪忠彦



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 3.2 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

★☆☆☆☆

標準計算

① 参照値	100%
② 建築物の取組み	73%
③ 上記+②以外の	73%
④ 上記+	73%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Qのスコア = 3.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.7

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 4.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 4.1

LRのスコア = 4.0

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.3

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.9

3 設計上の配慮事項		その他
総合 施設としては従業員が快適・安全に作業できるよう配慮し、敷地として周辺環境に配慮した計画を行なう。		0
Q1 室内環境 工場施設として、従業員の快適な作業空間を確保する。	Q2 サービス性能 建物の維持管理のしやすい計画を行なう。	Q3 室外環境(敷地内) 従業員の安らぎの確保、及び周辺地域に対しても良い環境を確保するような計画を行なう。
LR1 エネルギー 省エネルギーに配慮した計画を行なう。	LR2 資源・マテリアル 資源を極力消費しない計画を行なう。	LR3 敷地外環境 地域の環境の改善に役立つ計画を行なう。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される